

白井なおこ

しらい

レポート Vol.1

2019年1月25日発行

発行／日野・生活者ネットワーク
発行責任者／出沼恵美子
〒191-0062 日野市多摩平2-3-12 中央日石ビル4F
TEL.042-514-8695 FAX.042-514-8697
E-mail:hino-net@cap.ocn.ne.jp



f 白井なおこ 白井なおこHP ▶ <http://shirai.seikatsusha.me/>



Q 日野市はどのような方向性で農地を保全していくのか。

A 生産緑地、特定生産緑地、田園居住地域などの都市計画制度を有機的に活用していく。生産緑地の貸し借りが可能となつたことから、「農地バンク」のような制度の構築をはかり、農地を貸す側、借りる側のマッチングを行っていく。

Q 市民農園は減少の一途にあるが、今後の市の見解は。

A 各種団体が農園事業を開設することが可能となつたので、これをチャンスと捉え努力していきたい。

★農地・緑地の保全を目的とした横浜市のみどり税のような取り組みも視野に入れ検討をすすめること、農教育の充実、また市民に農のある豊かなまちづくりのビジョンを共有し、共感してもらえるような、リーフレットを作成・全戸配布することなど要望いたしました。

市長からは「こういう形でやり取りができるのはうれしいこと。日野市のこれまでの努力を踏まえて、法改正をどう活かすか、これを逃したらチャンスはないくらいの覚悟で取り組んでいく」といった力強いご見解をいただきました。全国に先駆け「農業基本条例」を制定した日野市として存分に力を發揮してほしいと願います。

※日野市のまちづくりに対する基本理念や将来のまちの姿が描かれたまちづくりの羅針盤

みんながホッとする場所がある
まちづくりを!

政策ワークショップに参加して

日々報道される政治ニュース。国政では一つの党が強大な力を持ち、多くの欠点が指摘された法案が、やすやすと通ってしまう。そんな様子を見ながら、まだ投票権さえ持たず、何もできない自分をふがいなく思っていた僕にとって、微力ながらも政治に直に関わらせていただけたこのワークショップは、とても楽しかった。

国政レベルで起きる問題は日々目に入るが、本来自分に最も近い政治の場である地方行政レベルで起こる問題は、あまり目に入らないように思う。僕はこのワークショップを通して、日野市が抱える

諸問題に気づけた事、逆に日野市が力を入れている事業をしっかりと知ることができたのが、良かったな、と思っている。

ワークショップは終わったが、これからも自分でやれることをやり、またネットの方と一緒に活動できる事があればぜひ!と思っている。ありがとうございました! 松浦 薫(WSに参加の中学生の感想です)



一緒に市内農地めぐりをしました

(仮称)石田地区公共施設設計業務委託料について

(平成30年度 般会計補正予算)
可燃ごみ処理場のある新石自治会

紹介議員にもなり、企画総務委員会では採択でしたが、最終的には残念ながら不採択。しかし、請願が採択されても日野市議会では全会一致でないと意見書は提出されません。

今後、全会一致への議論を深め、市民からの意見書が提出できるような議会運営を求めていきたいです。

日米地位協定の抜本的な改定を求める意見書の提出を

市内に66ヶ所ある地区センターは、徒歩圏内にあり、市民ならどこでも無料で使えるという、特筆すべき行政保有の財産です。平均で築約30年という老朽化、16%台の低い稼働率が課題ではあります。使い方次第で可能性が広がります。市には利用方法の周知や活用事例の紹介、および市民の要望に沿つたルールの見直し等を求めました。

また、空き家を活用した居場所づくりもすすんでいます。合わせて空き庭のマッチングも進めていく旨を望しました。

日野市に様々な意見や提案にも耳を傾けることを求め、資源回収を通して人がつながる「資源カフェ」、フレーバンクの拠点、廃油回収ステーション、廃棄物会計情報コーナーを提案し、賛成しました。

農のある日野の豊かなまちづくりを!

議会一般質問

市民が育てる日野・未来